



グレープフルーツと薬の相互作用

グレープフルーツの影響はグレープフルーツ中のフラノクマリン誘導体と呼ばれる成分が関与しており、CYP3A4という酵素で代謝を受ける薬物との相互作用があることが分かっています。

グレープフルーツと影響のある薬の例

カルシウム拮抗薬(降圧剤、抗狭心症薬) ニフェジピンL、ニフェランタン CR、ニカルジピン、アムロジピン、ワソラン、ジルチアゼム	血中濃度が上がり、血圧が下がりにすぎしてしまう可能性があります
抗不安剤 ホリゾン、ミンザイン	血中濃度が上がり、副作用(眠気など)が出る可能性があります
精神神経用薬 テグレトール、	血中濃度が上がり、重篤な副作用(心室性不整脈など)が出る可能性があります
HMGCoA還元酵素阻害薬(抗高脂血症薬) アトルバスタチン	血中濃度が上がり、副作用(横紋筋融解症)が出る可能性があります

他の柑橘類にも気をつけましょう

フラノクマリン類はグレープフルーツ以外の柑橘類、ザボン(ブンタン、バンベイユなど)、はっさく、スウィーティー、ダイダイ(ビターオレンジ)にも含まれています。あわせて注意しましょう。一方、果物や柑橘類の中でも、バレンシアオレンジ、りんご、ぶどう、温州みかん、レモン、カボスには含まれていないので影響はありません。

絶対に食べてはいけないの？

CYP3A4による薬物の代謝能にはかなり個人差があり、またグレープフルーツの影響にもかなり個人差があります。すなわち、グレープフルーツと薬物の相互作用がほとんど認められない人もいれば、かなり影響が出る人もいるということです。

安全性が最も重要であることを踏まえ、グレープフルーツとの相互作用が懸念される薬物を飲んでいる方は、基本として医師、薬剤師と相談し、自分の健康をよく観察しながら対応していきましょう。

参考文献: 国立健康・栄養研究所, 治療薬マニュアル 2013,

大日本住友製薬医療情報サイト

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。

(お薬によっては時間がかかることがあります)あすなる武川薬局
薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています

TEL 0551-26-3800

FAX 0551-26-3810

